

2021年5月度情報交換会

日時：2021年5月26日（水）14:00～

【発表内容】

1. FORUM21「コロナ対策と国際法～クルーズ船の受け入れに関する法のあれこれ～」実施について
2. 東北公益文科大学・慶應義塾大学共催「キャンパス de 健幸体験」について
3. 東北公益文科大学大学院「秋学期入学者・科目等履修生」出願受付中
4. 日本ニュージーランド学会第27回研究大会
公開シンポジウム「COVID-19とニュージーランド」の開催について

※次回の情報交換会は 2021年6月23日(水)の予定です。

お問い合わせ

東北公益文科大学 地域共創センター 進藤

TEL) 0234-41-1115 FAX) 0234-31-2082

E-mail) koho@koeki-u.ac.jp

2021年5月26日
東北公益文科大学

FORUM21「コロナ対策と国際法 ～クルーズ船の受け入れに関わる法のあれこれ～」

東北公益文科大学 地域共創センターでは、FORUM21「コロナ対策と国際法～クルーズ船の受け入れに関わる法のあれこれ」を開催致します。どなたでも無料でご参加いただけます。

★ ポイント

- ◆船の寄港拒否は国際法的に問題ない？
- ◆何日もかけて乗客の「検疫」をしたことは問題？
- ◆世界的なコロナ流行で、船で働く人に何が起こったか

記

○ 日 時：2021年 **6月14日(月) 13:00～14:30**

○ 会 場：**東北公益文科大学酒田キャンパス**

酒田市公益研修センター 中研修室 1

- 講師：本学准教授 樋口恵佳
- 参加費：無料
- 定員：対面 先着70名、オンライン 先着50名
- 申込方法：申込フォーム (<https://forms.gle/dgbooZHdpkVcyMzU8>) 又は E-mail にて①氏名②氏名よみ③メールアドレス④参加方法 (来場またはオンライン) ⑤住所 (来場参加希望者のみ) ⑥電話番号をお知らせください。

○ 締切：6月10日(木)13:00

※FORUM21は課外の教養講座として実施しているもので、学内外の講師による幅広いテーマのプログラムです。無料でどなたでもご参加いただけます。

※本事業は「公益のふるさとづくり活動補助金」(庄内開発協議会)の支援を受けて行っています。

お問い合わせ

東北公益文科大学 地域共創センター

TEL 0234-41-1115 FAX 0234-31-2082

E-mail kyoso@koeki-u.ac.jp

コロナ対策と国際法

～クルーズ船の受け入れに関わる法のあれこれ～

- ◆船の寄港拒否は国際法的に問題ない？
- ◆何日もかけて乗客の「検疫」をしたことは問題？
- ◆世界的なコロナ流行で、船で働く人に何が起きたか

FORUM21

公益教養プログラム

本学准教授の樋口恵佳より、「コロナ対策と国際法～クルーズ船の受け入れに関わる法のあれこれ～」についてお話しします。ぜひこの機会にお越しください。みなさまのご来場をお待ちしております。

日時 2021年6月14日(月)13:00～14:30(開場 12:30)

会場 酒田市公益研修センター 中研修室1
(東北公益文科大学 酒田キャンパス内)

講師 東北公益文科大学 准教授 樋口 恵佳(ひぐち えか)

研究分野:国際法

宮城県出身。東北大学大学院法学研究科 博士課程後期3年の課程修了、
笹川平和財団海洋政策研究所 研究員を経て2017年講師として着任、2021年より現職。
2020年度「東北公益文科大学 ベストティーチャー賞」受賞。
(本学では、教育実践に顕著な成果をあげた教員を表彰する制度を設けています。)

定員 来場 70名
Zoomによるオンライン参加 50名

※いずれも要事前申し込み。定員に達し次第締め切り
※新型コロナウイルス感染拡大状況により全面オンライン開催の可能性もあります。

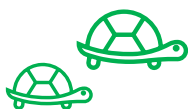
申込 下記申込フォームまたはメールにて以下6つの内容をお知らせください。
申込期限:6月10日(木)

※メールにてお申込みされる方は、件名に「6/14 公開講座申込」と入力してください。

①氏名②氏名よみ③メールアドレス④参加方法(来場またはオンライン)

⑤住所(来場希望者のみ)⑥電話番号

参加費 無料



ご来場の皆様にはマスク着用・検温・
手指消毒へのご協力をお願いします。



こちらの駐車場をご利用ください。

■ お申込み・お問い合わせ(平日 9:00～17:00)

〒998-8580 山形県酒田市飯森山 3-5-1 東北公益文科大学 地域共創センター

TEL 0234-41-1115 FAX 0234-31-2082 E-mail kyoso@koeki-u.ac.jp



参加申込フォーム

2021年5月26日
東北公益文科大学

鶴岡タウンキャンパス(慶應義塾大学・東北公益文科大学) キャンパス de 健幸体験の実施について

慶應義塾大学と東北公益文科大学は、鶴岡市の協力のもと、体験・展示企画「キャンパス de 健幸体験」を共催します。4月の「春のオープンキャンパス」に引き続き、鶴岡タウンキャンパス厚生棟利活用企画第2弾として実施します。

今回は「健康・福祉」をテーマに、慶應義塾大学先端生命科学研究科から、がん研究など健康に関する最新の研究活動を紹介するほか、同研究所から生まれたバイオベンチャー「サリバテック」社が開発した、唾液で分かるがんリスク検査キット「サリバチェッカー」を特別展示販売する予定です。慶大社会人院生による心と体の健康度チェック、慶大からだ館市民サポーターによる絵手紙や体操のリフレッシュ体験コーナーも特設します。東北公益文科大学は、学部生サークルによる食品ロス削減の取り組み紹介や、被災地復興支援につながるミニマルシェを開催します。

★ ポイント

新型コロナウイルス感染症の影響等により心身の健康に関心が高まる昨今、知識を得るだけでなく、簡単な健康チェックやリフレッシュなど、体験企画も用意しており、子どもから大人まで楽しく学べます。

○日 時：2021年 **6月13日(日)・14日(月) 10:00～16:00**

※ミニマルシェは13日(日)のみ実施です。

○会 場：**鶴岡タウンキャンパス 厚生棟**

(住所:鶴岡市馬場町14-2 ※旧・水の食卓百けん濠)

○参加費：無料(事前予約なしで、どなたでも参加いただけます)

お問い合わせ

大学院事務室(鶴岡キャンパス)

電話) 0235-29-0555

メール) gs@koeki-u.ac.jp

受付時間は平日 8:30～17:15

どなたでも！無料！！
最新情報と体験で心と体をリフレッシュ！

慶應義塾大学
×
東北公益文科大学

健康チェック！

リフレッシュ体験！

大学紹介！

鶴岡タウンキャンパス

キャンパスde健幸体験

心と体の健康チェック、手や体を動かすリフレッシュ体験、健康に関する
大学・企業の情報ブース、学生サークルによるミニマルシェなど、盛りだくさん！

2021年 6/13(日) ~ 14(月)
10:00~16:00

会場：鶴岡公園レストハウス
(鶴岡市馬場町14-2)



会場はこちら
(旧 百けん濠レストラン)

MAP

キャンパス周辺に3箇所駐車場があります



最新情報はこちらで♪
<facebook特設ページ>



● こころとからだ 健康チェック！

・こころ、認知力、ロコモ度などを簡単なテストでチェック！

● ミニ体験 楽しくリフレッシュ！

- ・「ジョサネ体操」：棒を使った簡単な筋トレ体験
- ・「絵手紙教室」：素材を選んでステキな一枚を手づくり

● 「がん」特別コーナー

- ・慶應義塾大学先端生命科学研究所
- ・最新のがん研究：がん代謝、抗がん剤の効果予測、乳がん増殖の仕組み解明 など
- ・「からだ館」：地域の健康情報ステーション：がん患者サロンの取組み ほか
- ・(株)サリバテック

【唾液でわかる！がんリスク検査】

- ・検査キット(サリバチェッカー)展示
- ・10,000円分の検査割引クーポン配布



● 研究&事業紹介 慶大先端研/バイオベンチャー

- ・「鶴岡コホートプロジェクト」
：地域の健康増進と疾病予防を目指す調査研究
- ・HMT(株) (ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ)：メタボロミクス事例紹介
- ・(株)メタジェン：腸内細菌ボードゲーム「バクテロイゴ」の展示 ほか

● 公益大学部生サークル マルシェ

- ・災害復興支援サークル チームmoreE (モアイ)
東日本大震災被災地にある「のぞみ福祉作業所」(南三陸町)
で作られたハガキ、タオルグッズなどの販売
- ・Liga 食品ロス削減チーム
食品ロスを削減するためのフードパントリーの活動紹介 ほか

※公益大学部生サークルの
マルシェは13日(日)のみ

本催事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行って実施いたします。
ご来場の際は、マスク着用・検温・手指消毒にご協力をお願いいたします。

お問い合わせ：東北公益文科大学大学院 電話：0235-29-0555 メール：gs@koeki-u.ac.jp

2021年5月26日
東北公益文科大学

東北公益文科大学大学院 2021年度秋学期入学対象入学試験 および 科目等履修生 出願受付中

東北公益文科大学大学院では現在、2021年度秋学期（2021年9月）入学対象の入学試験の出願を受け付けています。

また、春学期集中講義（2021年8月開講）の2科目についても、科目等履修生の出願を受け付けています。

★ ポイント

- 大学院秋学期入学試験において、ご所属先の推薦状を添えて「社会人特別選抜試験」に出願し、試験に合格・入学すると、入学金が半額減免（100,000円減免）されます。
- 授業は「平日夜間」と「休日日中」に開講しますので、お仕事をお持ちの方でも受講しやすくなっております。

記

○各出願受付期限：【秋学期入試】2021年 **7月30日(金) ※必着**

【科目等履修生】2021年 **6月25日(金) ※必着**

○科目等履修生の募集科目：「社会調査論」「公共経営研究10（海外行政研究）」

※出願に関する詳細はホームページに記載しています (<https://www.koeki-u.ac.jp/academics/gs/>)。

※本学大学院では、出願者の希望する研究内容と、本学大学院の指導体制・研究環境等に齟齬が生じないように、出願に先立って相互理解を図ることが望ましいと考えており、本学教員との事前面談を受け付けています。

お問い合わせ

大学院事務室（鶴岡キャンパス）

電話）0235-29-0555

メール）gs@koeki-u.ac.jp

受付時間は 平日 8:30～17:15

2021年5月26日

東北公益文科大学

日本ニュージーランド学会第27回研究大会 公開シンポジウム(オンライン) 「COVID-19とニュージーランド」の開催について

本学教員の武田真理子（副会長）と澤邊みさ子（事務局長）が所属している日本ニュージーランド学会の第27回研究大会において、オンライン方式による公開シンポジウムを開催いたします。テーマは「COVID-19とニュージーランド～政治文化、地域レジリエンス、社会保障の視点から日本が学べること～」。世界で最も新型コロナウイルス感染症対策に成功をしていると評されているニュージーランドのその理由を複数の専門分野の視点から探ります。

★ ポイント

- ニュージーランドでは積極的な感染症対策を講じ、本年5月5日までの累計感染者数は2629人、死亡者数は26人に止まっています。ニュージーランドの専門家による同テーマのシンポジウム開催は初めてとなります。
- サントリー学芸賞受賞歴もある気鋭の政治思想史研究者・将基面貴巳氏が出演。ニュージーランドよりライブで報告を行います。地域防災の専門家である石原凌河氏もお迎えし、多角的な視点からニュージーランドのコロナ対策の背景を探ります。

記

○日時：2021年**6月19日(土) 13:00～15:30**

※オンライン（Zoom ミーティング）による

○内容：オタゴ大学人文学部歴史学教授 将基面貴巳氏、龍谷大学政策学部
准教授 石原凌河氏、日本ニュージーランド学会副会長 武田真理子
による報告（各30分）とディスカッション「COVID-19とニュージーラ
ンド～日本社会への示唆～」(30分)

○参加費無料、事前申し込み必要（6月17日12:00までに日本ニュージーラ
ンド学会事務局・澤邊宛 sawabe@koeki-u.ac.jp）

お問い合わせ

日本ニュージーランド学会事務局長
澤邊みさ子：0234-41-1253（研究室）

日本ニュージーランド学会 第27回研究大会
公開シンポジウム（オンライン）

「COVID-19とニュージーランド ～政治文化、地域レジリエンス、社会保障の視点から 日本が学べること～」

新型コロナウイルス感染症の拡大は世界各国の人々の命と経済社会に大きな危機をもたらし、日本では政治、地域社会、社会保障制度のあり方が大きく揺らいでいます。一方、ニュージーランドは積極的なCOVID-19対策を講じ、本年5月5日までの累計感染者数は2629人、死亡者は26人とウィルスの「除去」に成功をしており、経済・社会活動への制約もほとんど行う必要のない状態にあります。本シンポジウムでは、ニュージーランドからの特別ゲストを招聘し、オンライン方式により、コロナ禍のニュージーランドから学べることを探ります。

【報告1】 オタゴ大学人文学部歴史学教授 将基面貴巳氏
「コロナ危機への対応に見るニュージーランドの政治文化」

【報告2】 龍谷大学政策学部准教授 石原凌河氏
「コロナ禍のニュージーランドの市民社会と地域レジリエンス」

【報告3】 日本ニュージーランド学会副会長（東北公益文科大学教授） 武田真理子
「ニュージーランドの社会保障制度とコロナ危機」

【ディスカッション】
「COVID-19とニュージーランド～日本社会への示唆～」

日時：2021年6月19日（土）13時～15時半

参加費：無料

申し込み：6月17日（木）12:00までに学会事務局・澤邊
sawabe@koeki-u.ac.jp 宛にお申し込みください。

※件名に「日本NZ学会公開シンポジウム申込」と記入の上、本文に
①氏名、②所属、③ZOOM IDの送付先となるメールアドレス、
④電話番号を記載し送信して下さい。

問い合わせ先：学会事務局 澤邊まで（上記申し込み先と同じ）

～報告者紹介～

将基面貴巳氏

慶應義塾大学法学部政治学科卒業。英国シェフィールド大学大学院歴史学博士課程修了(PhD)。研究領域は政治思想史。ケンブリッジ大学クレア・ホルのリサーチフェロー、ブリティッシュ・アカデミー中世テキスト編集委員会研究員、ヘルシンキ大学歴史学部訪問教授などを歴任。現在、ニュージーランド・ダニーデンに所在するオタゴ大学人文学部歴史学教授。英国王立歴史学会フェロー。『ヨーロッパ政治思想の誕生』(名古屋大学出版会、2013年)で第35回サントリー学芸賞(思想・歴史部門)を受賞。その他の著作にOckham and Political Discourse in the Late Middle Ages (Cambridge University Press, 2007), Visions of Peace: Asia and the West (co-edited with Vicki A. Spencer, Ashgate, 2014), Western Political Thought in Dialogue with Asia (co-edited with Cary J. Nederman, Lexington Books, 2009)、『言論抑圧 矢内原事件の構図』(中公新書、2014年)、『政治診断学への招待』(講談社選書メチエ、2006年)、『反「暴君」の思想史』(平凡社新書、2002年)、『愛国の構造』(岩波書店、2019年)、『日本国民のための愛国の教科書』(百万年書房、2019年)がある。



石原凌河氏



関西学院大学総合政策学部総合政策学科卒業。大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻修了(工学博士)。研究領域は地域レジリエンス(地域防災、災害復興、持続可能な都市・地域への再生)。公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター・リサーチフェロー、立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員、関西学院大学災害復興制度研究所学外研究員などを歴任。現在、龍谷大学政策学部政策学科准教授。共著に『ナラティブ研究の可能性:語りが映し出す社会』(秦かおり・村田和代編、ひつじ書房、2020年)、Depopulation, Deindustrialisation, and Disasters: Building Sustainable Communities in Japan. (Katsutaka Shiraishi, Nobutaka Matoba ed., Palgrave Macmillan, 2019)、『COVID-19 各国における政策と市民ボランティア:イタリア・アメリカ・台湾・ニュージーランド』(斉藤容子・リズマリ・李勇昕、K.G.りぶれっとNo.54, 関西学院大学出版会、2021年)がある。

武田真理子

慶應義塾大学経済学部卒業。同大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。研究領域は社会政策、公益学、ニュージーランド。東北公益文科大学教授、大学院公益学研究科長。日本ニュージーランド学会副会長。共著に『「小さな大国」ニュージーランドの教えるものー世界と日本を先導した南の理想郷』(論創社、2012年)など、論文に「ニュージーランドにおけるCOVID-19対策と社会保障制度に関する考察」『東北公益文科大学総合研究論集』第38号(2020年7月)など。

